

## 大井産業まつり

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一陸尉）は、1月18日（日）、大井産業まつり（大井町）に、地元の自衛官募集相談員の協力を受けブースを出展し、広報活動を行った。

大井産業まつりへの参加は、大井町の職員からの要望によるもので今回が初めてであったが、当日は天候に恵まれ、1万人4千人の来場者で（主催者発表）大いに賑わいをみせ、大勢の方々に自衛隊をPRすることができた。広報ブースには、募集パンフレットのほか、戦闘糧食、災害派遣活動や装備品などのパネルなどを展示したが、訪れた方からは、「装備品が見たい」という要望も多く聞かれた。小田原地域事務所は、「今後も、地域のイベントに積極的に参加して、自衛隊をPRしていく」としている。



自衛官募集ブース

## 湘光中学校の「総合的な学習の時間」を支援

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一陸尉）は、1月20日（火）、海上自衛隊厚木基地及び1月21日（水）、陸上自衛隊武山駐屯地において実施された、大井町立湘光中学校（2年生4名）の「総合的な学習の時間」を支援した。

1日目は、厚木基地や基地所在部隊の紹介、管制塔見学、P-3Cを研修した。P-3Cの研修では、コックピットに着座させてもらうなどの貴重な体験もできた。最後には4空群司令との懇談も行われ、生徒達は「海上自衛隊のことが理解できた」と語っていた。

2日目は、武山駐屯地において、駐屯地の概要説明、駐屯地案内、基本教練、体験食が行われた。2日間にわたり、生徒達は前向きに学習に取り組み、多種多様な体験に喜んでいった。

小田原地域事務所は、「今後も、「総合的な学習の時間」を積極的に支援し、将来的に自衛官募集につなげていきたい」としている。



P-3Cの前にて

## 南瀬谷中学校の「総合的な学習の時間」を支援

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎一陸尉）は、1月22日（木）、第4施設群（座間駐屯地）において、南瀬谷中学校（20名）の「総合的な学習の時間」を支援した。

代表生徒の「よろしくお願いします」という元気いっぱいの挨拶で始まり、自衛隊の任務や活動の概要説明を受けた後、2組に分かれて衛生科や武器科等の施設見学やラッパ吹奏を体験し、「難しいですね」といいながらも楽しそうにラッパと格闘していた。油圧ショベルの操縦体験では、ショベル内のサッカーボールをポリバケツに入れるというゲーム感覚で行われた。

横浜中央募集案内所は、「今後も、「総合的な学習の時間」を積極的に支援し、多くの青少年に自衛隊の任務や活動を理解してもらい、将来自衛官を目指してもらう」としている。



らっぱ吹奏体験